



大田市合併10周年記念式典関連事業  
**市民交流事業（おもてなしテント村）**

# 開催報告書

◇期日：平成27年10月3日（土）

◇場所：大田市民会館前公園

大田市政策企画部地域振興課  
7ブロックまちづくり委員会

## 1. 事業概要

### (1) 開催の目的

平成27年10月3日に開催された「大田市合併10周年記念式典」の一環として、多くの市民が集い、大田市が合併して10年経過したことを認識してもらうこと、また、現在行っている各地域のまちづくりの活動を知ってもらうとともに、更なる協働のまちづくりの推進を図ることを目的に「市民交流事業」を実施した。

### (2) 活動の概要

この市民交流事業を「おもてなしテント村」と銘打ち、市内7つのブロックのまちづくり委員会が、主に「地域の特産品」や「郷土料理」等を“ふるまい（無料）”でサービスするとともに、現在、取り組んでいるまちづくり事業のPR等を行った。

◇日時：平成27年10月3日（土） 午前10時～午後2時

◇場所：大田市民会館前公園（芝生広場）

＜ブロック別活動概要＞

| ブロック名   | 活動概要   |
|---------|--|
| 中央ブロック  | 地域の特産物である「芋」を使った料理（イモぜんざい、イモプリン、ふらいどスイーツポテト）の無料配布 等                  |
| 東部ブロック  | 地元で採れた農産物を使ったお弁当（富山の新米のおにぎり、厚焼き卵、漬物等）の無料配布とまちづくり活動紹介パネルの展示           |
| 西部ブロック  | 大田市の郷土料理（天ぷらまんじゅう、押し寿司）の無料配布やレシピの配布、ハマナスの保全活動PR、神話のまち歴史散歩イベントPR 等    |
| 三瓶ブロック  | 三瓶地域の女子会が地域の特産物を使った料理（わさび寿司、くりごはん、しゃくちりケーキ、遊牧麺）を無料配布、三瓶地域の食マップ配布 等   |
| 高山ブロック  | 高山ふれあい広場(旧アンテナショップ)の開設（地鶏焼き鳥のふるまい、銀貨草の種の配布、ボン菓子・芋スティック・芋ゴマ団子・苔玉等の販売） |
| 温泉津ブロック | 10月24日、25日に開催する全国吉川交流会・不言城まつりのPR（鎧武者3人によるチラシ配布）、記念書籍の販売 等            |
| 仁摩ブロック  | 「仁摩で恋活」事業のPR（にまちょう琴音ちゃんがチラシ、ポケットティッシュ、アメ、缶バッジを配布）、馬路のボヘ飯の販売 等        |

（※活動の詳細は2頁以降に記載）

### (3) まとめ

大田市では合併直後から“地域の特色を活かしたまちづくり”を7つのブロックで展開してきた。今回実施した「おもてなしテント村」は、各ブロックの、まちづくり委員会、まちづくりセンター、まちづくり団体等が、それぞれの力を結集し、合併記念式典を盛り上げたもので、まさに、これまでの10年間の活動の集大成ともいえる内容であった。

当日、会場には、多くの市民が集まり、用意していた11種類、約3,500食の郷土料理のふるまい（無料）、関連グッズを配布した他、販売した食品等も全て完売になる等、好評を博し、大盛況のイベントとなった。

また、これまで行ってきたブロックのまちづくり活動の紹介、今後で開催するイベントのPR等、協働のまちづくり事業の周知を図ることができた。

今後は、これまで実施してきた活動、今回のテント村の成果を踏まえ、更なる交流人口の拡大、観光の振興、産業の振興に結び付け、地域の活性化を図っていきたい。

## 2. ブロック別活動内容

### <中央ブロック>

#### 1. テント村の特色

中央ブロックでは、井戸平左衛門が飢饉を救ったことで有名なサツマイモを“まちづくりのキーワード”に、サツマイモの消費拡大と生産拡大に取り組んできた。テント村においても、これまで開発してきたサツマイモを食材とした料理の無料配布とPRを行った。

#### 2. テント村の内容

- イモぜんざい（300食）の無料配布
- イモプリン（200食）の無料配布
- ふらいどスイートポテト（350食）の無料配布
- 上記メニューのレシピ集（200部）の配布、PR

#### 3. テント村の参加者

- ・まちづくり委員会関係者、食育ボランティア、地域住民～31人

#### 4. まとめ

サツマイモの栽培は、耕作放棄地の再生や高齢者の生きがいづくりにも役立ち、また、それを食材としたメニュー開発は今後の商品化等により産業振興にも結びつく取り組みであり、今後の更なるサツマイモの地産地消、消費拡大に向けたPRの場とすることができた。

#### 5. 開催状況写真



△のぼり旗を立て準備完了



△スイーツは若い人にも大人気



△宮根誠司さんもイモプリン試食中



△そろいのエプロンで一致団結

## <東部ブロック>

### 1. テント村の特色

東部ブロックでは、これまでブロック内の地域資源の再発見・再評価による地域づくりを推進するとともに、その地域資源を活用してブロック内の交流人口拡大に向けた活動を行ってきた。これらを踏まえ4町で採れる食材にこだわった「ミニ弁当」のふるまいと、東部ブロックの活動のPRを行った。

### 2. テント村の内容

- おもてなしミニ弁当（400食）の無料配布  
（食材）・おにぎり（新米～富山町、藻塩～久手町） ・厚焼き卵（波根町）  
・漬物（朝山町）
- ブロック内4町の地域づくり活動、まちづくり委員会や公民館の事業を紹介するパネル展示

### 3. テント村の参加者

- ・まちづくり委員会関係者～12人
- ・食育ボランティア、地域住民～11人

### 4. まとめ

ミニ弁当の配布により地元食材の紹介や地産地消のPR、ブロック内の地域づくり活動の紹介等、地域の情報発信ができた。今後は、地域外の市民へも交流人口の拡大につながる活動の展開を図りたい。

### 5. 開催状況写真



△地元食材を使ったミニ弁当



△各町の行事や取組紹介のパネル展示



△おそろいのTシャツを着て、おもてなし



△宮根誠司さんにも食べてもらいました

## <西部ブロック>

### 1. テント村の特色

西部ブロックでは、これまで地域に豊富に残る歴史・文化を活用した地域づくりを推進してきており、まちづくり委員会事業としても食の伝承事業等も開催してきた。これらの経緯を踏まえ地域に伝わる郷土料理のふるまい、地域資源のPRを行った。

### 2. テント村の内容

- 押し寿司（400食）の無料配布
- 天ぷらまんじゅう（1,000食）の無料配布
- 上記レシピの配布
- 島根県天然記念物に指定されているハマナスの保全活動のPR
- 神話のまち歴史散歩イベント(10月31日開催)の開催周知
- 静間駅の駐輪場建設資金の募金活動（自己資金と浄財(寄附金)で建設予定)

### 3. テント村の参加者

- ・まちづくり委員会関係者～12人
- ・食育ボランティア～11人
- ・まちづくりセンター職員～3人

### 4. まとめ

テント村に来場した若者や子どもの中には、郷土料理、特に“天ぷらまんじゅう”を初めて食べた者も多く、次世代への継承に資する活動となった。

### 5. 開催状況写真



△「あら懐かしいわね～」「昔はお祭りの日に食べてたわ」と思わず手が伸びます



△色鮮やかな「天ぷらまんじゅう」



△お客さんが増え、「押し寿司」の配布コーナーを増やして対応——すぐに品切れになりました



△宮根誠司さんも“ふるさとの味”に大満足

## <三瓶ブロック>

### 1. テント村の特色

三瓶ブロックでは、まちづくり委員会とブロック内の3つの女子会（さんべ女子会～池田、やまさくらの会～北三瓶、さくらの会～志学）が地元で採れる食材を使った特色ある料理のふるまいと、三瓶ブロックの食に関するPRを行った。

### 2. テント村の内容

- わさび寿司（100食）の無料配布
- くりごはん（100食）の無料配布
- しゃくちりケーキ（200食）の無料配布
- 遊牧麺（230食）の無料配布
- 上記メニューの他、はちみち、しいたけ、きのこごはんの販売
- 「さんべ食べるMAP」の配布による地域の食のPR
- 三瓶の草木によるディスプレイ、幟によるPR

### 3. テント村の参加者

- ・まちづくり委員会関係者～10人
- ・女子会関係者～20人
- ・子ども～3人
- ・青年部～4人

### 4. まとめ

これまで連携が無かった3つの女子会が合同でテント村を開設したことは、今後の連携による相乗効果も期待でき、大変、有意義な取り組みとなった。また、「食べるMAP」による食のPRもすることもでき、今後の産業振興にもつながるイベントとなった。

### 5. 開催状況写真



△子ども達も手伝い準備完了



△竹腰市長も故郷の味に舌づつみ



△遊牧麺のふるまいが好評でした



△ススキや草花を使ったディスプレイも好評

## <高山ブロック>

### 1. テント村の特色

高山ブロックでは、これまで地域で生産される食材を加工した食品を販売する「高山ふれあい広場（旧アンテナショップ）」の活動を続けてきた。今回のテント村でも、これらの経験を活かし、特産品のふるまいや販売、地域資源のPRを行った。

### 2. テント村の内容

- 地鶏の焼き鳥串（200本）の無料配布
- 草木を焙じた健康茶の無料サービス
- 石見銀山にちなんだ銀貨草の種（80袋）の無料配布
- 芋スティック、芋ゴマ団子、たい焼き、たこ焼きの販売
- ポン菓子（米、黒豆、マカロニ）の販売
- 高齢者が製作した苔玉の販売

### 3. テント村の参加者

- ・まちづくり委員会関係者～12人
- ・まちづくりセンター職員他住民～19人

### 4. まとめ

今回のテント村の取り組みは、耕作放棄地に地域住民が植え付けした芋、大森小学校児童が栽培した銀貨草、高齢者の生きがいつくり活動で作った苔玉等、日頃、まちづくり委員会やまちづくりセンターの活動の成果を活かす内容であった。

### 5. 開催状況写真



△そろいの衣装で焼き鳥の準備中



△たいやきのコーナーには子ども達が・・・



△ハード事業で整備したテントが活躍



△無料の健康茶のサービスコーナー

## <温泉津ブロック>

### 1. テント村の特色

温泉津ブロックでは、これまで「地域の宝」発掘・継承事業により、地域に残る歴史や文化を掘り起こし、地域づくりに役立ててきた。特に、戦国時代の武将・吉川経家や、その居城である不言城の歴史は、まちづくり委員会事業や公民館まつり等でも顕彰を続けてきた。テント村では、本年10月24日（土）～25日（日）に開催する「全国吉川交流会 in 大田」「不言城まつり」のPRを行った。

### 2. テント村の内容

- 鎧武者（3人）のチラシ配り、ポスター掲示によるイベント開催のPR
- 「ほら貝」のパフォーマンス
- 新聞紙かぶとの無料配布（子どもを対象に）
- 吉川経家の生涯を描いた「記念書籍」の販売

### 3. テント村の参加者

- ・ まちづくり委員会関係者～4人
- ・ 吉川交流会実行委員～5人

### 4. まとめ

不言城址の整備は、まちづくり団体助成事業（ハード事業）を活用した経緯があり、交流事業等も積極的に開催している。今回、市内外からの参加者へ情報発信することで、交流人口の拡大、観光振興の推進に期待できる活動となった。

### 5. 開催状況写真



△準備風景(不言城の幟やポスターの設置)



△ほら貝でお出迎え



△実行委員もPRに一役



△鎧武者のせいぞろい

## <仁摩ブロック>

### 1. テント村の特色

仁摩ブロックでは、平成 25 年度から定住対策とまちづくりの後継者育成を目的とした取り組み「仁摩で恋活」事業を推進してきた。テント村では 12 月 5 日（土）～6 日（日）に開催する本年度のイベントのPRを行った。

### 2. テント村の内容

●仁摩地域活性化シンボルキャラクター「にまちょう琴音ちゃん」による仁摩で恋活事業の開催周知

- ・琴音ちゃんアメ（400 個）、琴音ちゃん缶バッジ（200 個）の無料配布
- ・チラシ（500 枚）、ティッシュ（500 個）の配布
- ・ブース内のポスター掲示

●馬路のボベ飯（100 食）の販売

### 3. テント村の参加者

- ・まちづくり委員会関係者～11人
- ・まちづくり団体関係者～6人

### 4. まとめ

昨年度、まちづくり団体助成事業（ハード事業）を活用して作製した、仁摩地域活性化シンボルキャラクター「にまちょう琴音ちゃん」による周知活動は、恋活事業だけではなく仁摩地域全体のPRに結び付いた。

### 5. 開催状況写真



△ブースは「仁摩で恋活」ポスターでいっぱい



△にまちょう琴音ちゃんも「仁摩で恋活」をPR



△ティッシュや缶バッジ等を配布



△地元食材を使った「馬路のボベ飯」は大人気



大田市合併 10 周年記念式典関連事業  
市民交流事業(おもてなしテント村)

## 開 催 報 告 書

(作成 政策企画部地域振興課)